#### 第2号様式(1)-3

(単体発注・事前審査型)

地方自治法(昭和22年法律第67号)第234条第1項の規定により、一般競争入札(以下「入札」という。)を次のとおり実施する。

令和7年10月31日

沖縄県知事 玉城 康裕

## 1 業務概要

	来務慨安			
(1)	業	務	名	与那国テレビ中継局自営受電線路用電柱撤去工事設計業務
(2)	業務	場	所	与那国町
(3)	業務	内	容	与那国テレビ中継局への自営受電線路用電柱の撤去工事に係る設計業務
(3)	未 坊	P 3	Į į	(別冊仕様書のとおり。)
(4)	履 行	期	限	契約締結日の翌日から令和8年3月31日まで
(5)	発 注	形	態	単体発注
(6)	資格審	査 方	法	事前審査型
(7)	その他適法令、			最低制限価格 ※本入札案件には最低制限価格が設定されているため、その申込みに係る価格が最低制限価格制度 に満たない者は落札者となることができない。
	1 21211	案件は、右表のうち、 印を付した制度等の っ		議会議決 ※本業務に係る契約は、地方自治法第96条の規定に基づき沖縄県議会の議決を得る必要がある ため、落札決定後は仮契約を締結し、沖縄県議会の議決を経て通知したときに本契約となる。
				※本手続は、次年度当初 <del>(補正)</del> 予算成立を前提とした年度開始 <del>(予算成立)</del> 前からの準備手 準備手続 (予算成立前)
				準備手続 ※本手続は、国庫支出金に係る予算使用を前提とした事前準備手続であり、交付決定後に効力 (交付決定前) を生じる事業である。したがって、交付申請等の手続の関係上、入札を延期する場合がある。
				※本手続は、県議会における繰越承認を前提とした事前準備手続であり、議会承認後に効力を 準備手続 生じる事業である。したがって、県議会において、本業務に係る予算の繰越承認が否決された (繰越承認前) 場合は、延期又は中止することがある。また、予算の繰越承認後においても、国庫支出金に係 る繰越(翌債)手続の関係上、入札を延期する場合がある。
				債務負担行為業務 ※本業務は、債務負担行為に係る契約の特則の適用を受ける業務である。
(8)	適用する	技術者単		令和7年度 設計業務委 ※本業務の予定価格は左記に示す設計業務委託等技術者単価を適用して積算しており、入札参加者 託等技術者単価 は同単価を適用して見積りを行い入札すること。

### 2 入札参加資格

次に掲げる条件をすべて満たしている有資格業者であること。

(1)	業	種	区		建築関係建設コンサルタント 又は土木関係建設コンサルタ ント	(1)の業種において、(2)に表示する年度に沖縄県の測量及び建設コンサルタント等業務入札参加登録資格者名簿に登録があること。 なお、会社更生法(平成14年法律第154号)に基づき更生手続開始の申立てが		
(2)	タン	及び建設 ト等業務 者名簿			令和7・8年度	なされている者又は民事再生法(平成11年法律第225号)に基づき再生手続開始の 申立てがなされている者については、手続開始の決定後、入札参加資格の再認定 を受けていること。		
(3)	登	録	業	種	電気又は電力土木又は電気 電子	(2)に表示する年度に沖縄県の測量及び建設コンサルタント等業務入札参加登 録資格者名簿において(3)の業種が登録されていること。		
(4)	有	資	格	者	_	_		
(5)	地	域	要	件	沖縄県内	(2)に表示する年度に沖縄県の測量及び建設コンサルタント等業務入札参加登録資格者名簿において県内コンサルタント名簿に登載され、本社住所が(5)に示す地域に所在していること。		
(6)	格	付		け	_	_		
(7)	地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4の規定に該当しない者であること。							
(8)	入村	札参加資	格申請	書の	提出期限から落札決定日までの	D期間に、本県の指名停止措置を受けていないこと。		

入札に参加しようとする者の間に、以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。 なお、以下の関係がある場合に、辞退する者を決めるために当事者間で連絡を取ることは、沖縄県土木建築部競争入札心得第3条 第2項の規定に抵触するものではない。

#### 資本関係

次のいずれかに該当する二者の場合

- (7)子会社等(会社法(平成17年法律第86号)第2条第3号の2に規定する子会社等をいう。以下同じ。)と親会社等(同法同条 第4号の2に規定する親会社等をいう。以下同じ。)の関係にある場合
- (イ)親会社等を同じくする子会社等同士の関係にある場合

#### 人的関係

(9)

次のいずれかに該当する二者の場合。ただし、(7)については、会社等(会社法施行規則(平成18年法務省令第12号)第2条第3項第2号に規定する会社等をいう。以下同じ。)の一方が民事再生法(平成11年法律第225号)第2条第4号に規定する再生手続が存続中の会社等又は更生会社(会社更生法(平成14年法律第154号)第2条第7項に規定する更正会社をいう。)であ る場合を除く

- (ア)一方の会社等の役員(会社法施行規則第2条第3項第3号に規定する役員のうち次に掲げる者をいう。以下同じ。)が、他 方の会社等の役員を現に兼ねている場合
- 1)株式会社の取締役。ただし、次に掲げる者を除く
- (i) 会社法第2条第11号の2に規定する監査等委員会設置会社における監査等委員である取締役
- (ii) 会社法第2条第12号に規定する指名委員会等設置会社における取締役
- (iii) 会社法第2条第15号に規定する社外取締役
- (iv) 会社法第348条第1項に規定する定款に別段の定めがある場合により業務を執行しないこととされている取締役
- 2) 会社法第402条に規定する指名委員会等設置会社のの執行役
- 3) 会社法第575条第1項に規定する持分会社(合名会社、合資会社又は合同会社をいう。) の社員(同法第590条第1項に規定する定款に別段の定めがある場合により業務を執行しないこととされている社員を除く。)
- 規定するためにが良いたのかでのでからである。 4)組合の理事 5)その他業務を執行する者であって、1)から4)までに掲げる者に準ずる者 (イ)一方の会社等の役員が、他方の会社等の管財人を現に兼ねている場合 (ウ)一方の会社等の管財人が、他方の会社等の管財人を現に兼ねている場合 その他の入札の適正さが阻害されると認められる場合

(シールンハーン 地口 古 ご が PE 古 ご 4 いる こ 応 め り れ る 場 合 (共 同 企業体 を 含 む。 ) と そ の 構成 員 が 同 一 の 入札 に 参加 して い る 場 合 そ の 他 上 記 ア 又 は イ と 同 視 し う る 資 本 関係 又 は 人 的 関係 が あ る と 認 め ら れ る 場 合

(10) 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、沖縄県土木建築部発注工事等からの排除要請があり、当該状況が継続している者でないこと。

(2-)	請か	あり.	. 当該状況》	3継	続している者でないこと。					
		以	下の全てに記	亥当	する業務の実績(以下「業務実績」という)を有すること。					
		対	象期	間	自 平成27年4月1日					
		X)	<b>多</b>	间	左記の期間内に下記の全てを満たす1件以上の業務実績を有すること。 至 令和7年11月20日					
			築 物 用	途	_					
		主	たる構	造	_					
		延	べ面	積	_					
(11)	業務実績	業	務内	容	次のア〜ウのいずれかに該当する電気設備に係る業務であること。ただし、取り消し線の部分を除く。 <del>ア 基本設計 (新築又は改築又は改修又は解体)</del> イ 実施設計 (新築又は改築又は改修 <del>又は解体)</del> <del>ウ 工事監理 (新築又は改築又は改修又は解体)</del>					
	<b>順</b>	発	注	者	国、県、他の地方公共団体(※1)、その他の公共団体(※2)又は独立行政法人等(※3)(以下、「公共団体等」という。) ※1 他の地方公共団体は、地方自治法に規定する普通地方公共団体及び特別地方公共団体をいう。 ※2 その他の公共団体は、公共組合(健康保険組合、土地区画整理組合、土地改良区、農業共済組合等)、営造物法人(公庫、公団、事業団)、地方三公社(土地開発公社、住宅供給公社、道路公団)をいう。 ※3 独立行政法人等は、独立行政法人、地方独立行政法人、国立大学法人、公立大学法人、地方共同法人をいう。					
		備		考	設計共同体の構成員としての業務実績は、出資比率20%以上のものに限り対象とする。					
		下記	の要件を満れ	とす	・管理技術者及び照査技術者を配置できること。また、各技術者はそれぞれ1名とする。					
		管理技術者	要	件	以下のいずれかの要件を満たす者とする。 ・技術士 (電気電子部門、電力土木部門または総合技術監理部門(電力・エネルギーシステムまたは電力土木)) ・一級又は二級電気工事施工管理技士 ・一級又は二級土木工事施工管理技士 ・土木学会認定土木技術者(特別上級土木技術者、上級土木技術者又は1級土木技術者) ・シビルコンサルティングマネージャ(電力土木部門又は電気電子部門) ・過去10年間に、配電線路更新又は撤去を含む設計業務の実績を1つ以上有している者					
			業務実	績	平成27年4月1日以降に完了した1件以上の、(11)に示す業務実績を有していること。					
	配		雇用関	係	入札に参加しようとする者との間で、入札日前に3ヶ月以上の直接的かつ恒常的な雇用関係があること。					
	置予		手持ち業	務						
(12)	定技術者	主 支 析	定支析者照査技	主支 所 新 照 查 技	要	n.	以下のいずれかの要件を満たす者とする。 ・技術士(電気電子部門、電力土木部門または総合技術監理部門(電力・エネルギーシステムまたは電力土木)) ・一級又は二級電気工事施工管理技士 ・一級又は二級土木工事施工管理技士 ・土木学会認定土木技術者(特別上級土木技術者、上級土木技術者又は1級土木技術者) ・シビルコンサルティングマネージャ(電力土木部門又は電気電子部門) ・過去10年間に、配電線路更新又は撤去を含む設計業務の実績を1つ以上有している者			
		術者	業務実	績						
			所	属	主任担当技術者は沖縄県土木建築部における令和7・8年度測量及び建設コンサルタント等入札参加資格者名 簿に登録されている事務所に所属している者であること。					
			手持ち業	務						
		技	術者の兼任		・管理技術者と照査技術者は兼任できない。					

(13)	業	務	の	再	委		・分担業務分野のうち、「電気」を再委託しないこと。 ・業務の一部を再委託する場合、再委託先である協力事務所は、当該協力事務所が本県の指名停止措置を受けていないこと。
(14)	そ	の	他	の	条	件	

# 3 入札.手続等

3	入札手続等			
(1)	手続方法	子 条業務である。 ができる。	入札手続(入札書提出から落札者決定まで)を電子入札システム 。ただし、代表者の変更等で電子 <u>入札によりがたい場合</u> は、紙入 <del>に関する事項</del> については、「8 電子入札に関する事項」を参照	札へ移行すること
		る。 ・電子入札シ ・紙入札によ 「沖縄県電	入札手続き(入札書提出から落札者決定まで)を紙入札で行う紙ステム利用者が紙入札へ移行する場合「紙入札方式移行申請書」り電子入札案件へ参加する場合「紙入札方式参加申請書」(様式・フトストルプータルサイト>4. 様式・フニュアル)。pref.okinawa lg. jp/site/doboku/gijiken/ebidportal/downloa	<u>(様式第4号)</u> 第3号)
(2)	設計図書の配布	期間	\$告日~ 令和7年11月21日	
		配布方法 (URI	p縄県ホームページに掲載する。 L】 s://www.pref.okinawa.lg.jp//shigoto/nyusatsukeiyaku/1015342/1025 p縄県企画部 情報基盤整備課 電話: 098-866-	
(3)	入札参加資格審査 申請書等の提出	を提出し、入札参 なお、提出期限	望者は、一般競争入札参加資格を有することを証明するため、申加資格の有無について確認を受けなければならない。 までに申請書及び買う人資料を提出しない者並び入札参加資格が加することができない。	
			↑和7年11月14日 (金) 12:00 まで	
		提出先州	F900-8570 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号 P縄県庁舎14階 P縄県土木建築部 情報基盤整備課 情報通信基盤班 記話:098-866-2036	提出 1部
		提出方法 ※	F参又は郵送(提出期限必着。配達が確認できる方法で送付するこ F郵送の場合は、封筒に必要書類を一部同封し、封筒表に「入札参 F」及び「親展」と朱書きし、提出すること。	
		提出資料・(	般競争入札参加資格確認申請書 様式1)業務の実績 様式2)配置予定技術者の資格等 様式3)企業概要表 様式に係る証明資料	
(4)	入札参加資格の確認	でに書面で通知す	確認は、申請書等の提出期限の日をもって行うものとし、その結 る。 17日(月)(予定)	果は、以下の日ま
(5)	入札日時等	入札の方法	(1) 入札書は持参又は郵送により提出することとし、一般競争入札参加書の写しも併せて提出すること。 (2) 郵送による入札を行う際は、事前に6-(1)の問い合わせ先に連絡をととし、表封筒に「入札書在中」及び「親展」と朱書きし、中封筒に業務載の上封書し、簡易書留郵便により契約担当者あて提出するものとする	行うこと。二重封筒 8名、入札日時を記
		入札日時	令和7年11月21日(金)10:00 場所:県庁14階 防災無線統制 郵送により入札をする場合は、令和7年11月20日17時必着とする。	至
		積算内訳書の 提出	(1) 第1回目の入札に際し、入札書に記載される入札金額に対応した程由)を提出すること。 (2) 積算内訳書の様式は自由であるが、記載内容は最低限、業務名、経位、単価及び金額を明らかにし、商号又は名称並びに住所を記載すると押印すること。 (3) 提出された積算内訳書について、契約担当者(これらの者の補助者を求めることがある。	E費名称、数量、単 ∴共に、代表者印を
		注意事項	(1) 積算内訳書を入札時に情報基盤整備課へ提出すること。提出がないになることがある。 (2) 入札者は、自己の印鑑を必ず持参すること。 (3) この公告の記載に従い、入札書、委任状には業務名及び業務場所を (4) 代理人が入札を行う場合、委任状を持参すること。委任状の提出か に参加することができない。なお、委任状は、代理人の印では訂正で (5) 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額)をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税にあるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分額(計画通知等申請手数料は非課税額として見積る契約金額に含まれま記載すること。	と記入すること。 いない場合は、入札をない。 分の10に相当する額を類を切り捨てた金 に係る課税事業者での100に相当する金

	5) 入札の辞退等	入札参加資格申請後、都合により入札を辞退する場合は、入札締切日時までに入札辞退届(任意様式)を提出すること。 また、落札決定までの間に別の業務を落札したことにより、配置予定技術者を本業務に配置できなくなった場合は、直ちに6-(1)の問い合わせ先に報告すること。当該報告がなく、本入札の手続が落札決定まで至った場合、「沖縄県における工事等請負契約に係る指名停止等措置要領(※)」に基づく指名停止を行うことがある。 ※【沖縄県土木建築部契約関係例規集>1-4】
		http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/gijiken/nyuusatu/keiyakukannkeireikisyuu.html
(,	7) 落札者の決定方法	開札後、予定価格の範囲内で有効な最低の価格をもって入札を行った者を落札者とする。 なお、最低価格で入札をした者が2者以上いる場合は、 <del>電子入札システムの電子</del> くじにより1位の 者を落札者とする。
	8) 本入札に係る資料の 取扱い	ア 提出期限を過ぎた場合、申請書等は受け付けない。 イ 申請書等の修正、差し替え、追加、再提出(以下「修正等」という。)は、提出期限内に 限り認める。提出期限後に、書類の記載漏れや添付漏れ等が見付かった場合は、入札参加資 格なしとなり、落札者となることはできない。 ウ 提出された申請書等は、返却しない。 エ 申請書等の作成及び提出に係る費用は、提出者の負担とする。 オ 契約担当者は、入札参加資格の確認のため以外に、提出された申請書等を使用しない。
(	9) その他	_

# 4 入札保証金及び契約保証金

-	八代休証並及い矢が休	ыт 715		
(1)	入札保証金	入り、 (1) 人名 (2) 人名 (4) な別 (4) な別 人 (2) しめる (1) な別 人 (2) しめる (2) しゅん (1) スティー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・デ	つ金額等はは、 うなのではは、 対象のではは、 対象のでは、 はは、 消り、 はは、 消り、 はは、 には、 には、 にがし、 には、 にがし、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	是出があった場合。
		また、一度挑	是出された入札の	呆証金の納付等の変更はできないものとする。
			提出期限	令和7年11月20日 (木) 17:00 まで
			提出先	沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号 沖縄県庁舎14階 沖縄県企画部 情報基盤整備課 情報通信基盤班 電話:098-866-2036 FAX:098-867-2998
				E-Mail:xx013005@pref.okinawa.lg.jp
		入札保証金 (現金の場合)	提出方法	①令和7年11月14日(金)12:00 までに入札参加資格申請書と併せて、「入札保証金納付書発行依頼書」を提出。持参又は郵送(配達が確認できる方法にて送付すること。)。持参する場合は、事前に連絡をすること。 ②県が発行する「歳入歳出外現金払込書」により金融機関で納付後、上記提出期限までに当該受領書(写)をメール、FAX又は持参にて提出すること。 ※メールで提出する場合は、必ず電話で到達確認を行うこと。
				【沖縄県土木建築部契約関係例規集>2-13】 http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/gijiken/nyuusatu/keiyakukannkeire ikisyuu.html
		3 At /D == /D	提出期限	令和7年11月20日 (木) 17:00 まで
		入札保証保 険証券・入 札保証書・	提 出 先	伊絕宗正画部 情報基盤整備課 情報通信基盤班
		契約保証予約 証書	提出方法	持参又は郵送(配達が確認できる方法にて送付すること)。持参する 場合は、事前に連絡すること。
			その他	
			提出期限	令和7年11月18日 (火) 12:00 まで
		過去2箇年の 間に履行期限	提出先	沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号 沖縄県庁舎14階 沖縄県企画部 情報基盤整備課 情報通信基盤班
		が到来した国 又は地方公共 団体等との実	提出方法	持参又は郵送(配達が確認できる方法にて送付すること)。持参する 場合は、事前に連絡すること。
		績により免除 に該当する場	その他	沖縄県財務規則第100条第2項第3号に該当する2件以上の実績を、配付資料 『地方公共団体等契約状況』に記載の上、次の①、②と併せて提出すること。 ①契約書の写し(当初契約書から業務完了までの改定契約書も含む。) ②業務完了がわかる資料の写し(検査結果通知書等)
		有価証券等	受入日時・	受入方法等の調整があるので、事前に上記担当者まで電話連絡すること。

(2) 契約保証金	契約を結ぼうとする者は、沖縄県財務規則第101条及び契約書の定めるところにより、契約保証金
	(契約金額の100分の10以上)を納めなければならない。
	ただし、国(独立行政法人、公社及び公団を含む。)又は地方公共団体と種類及び規模をほぼ同じ
	くする契約を締結した実績を有し、これらのうち過去2箇年の間に履行期限が到来した二以上の契約
	を全て誠実に履行し、かつ、契約を履行しないこととなるおそれがないと認められるときには、免除
	とする。

#### 5 その他の事項

_	この原の事項	
(1)	配置予定技術者の 確認	病気、死亡、退職等の場合でやむを得ないとして承認された場合を除き、申請書等の差し替えは認めない。また、やむを得ない理由により配置予定技術者を変更する場合は、2 (12) に掲げる基準を満たし、かつ当初の配置予定技術者と同等以上の者を配置しなければならない。
(2)	入札の無効	本公告に示した入札参加資格を有しない者のした入札、申請書等に虚偽の記載をした者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。また、申請書等に虚偽の記載があった場合、「沖縄県における工事等請負契約に係る指名停止等措置要領」(※)に基づく指名停止を行うことがある。 ※【沖縄県土木建築部契約関係例規集>1-4】 http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/gijiken/nyuusatu/keiyakukannkeireikisyuu.html
(3)	支払条件	前 金 払 契約金額の30%以内
		<ul><li>部分払</li><li>なし</li></ul>
(4)	契約締結の時期等	(1) 本業務に係る契約は、落札者の決定後7日以内に締結する。ただし、契約担当者が特に 指示したときは、この限りでない。 (2) 議会議決を要する契約の場合、落札者は、落札決定後7日以内に記名押印した仮契約書 の案を提出すること。 (3) 契約手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。
(5)	業務委託料の変更等	本業務の契約締結後、本業務の業務委託料の変更協議をする場合及び本業務と関連する業務を本業務受託者と随意契約する場合、変更協議又は関連する業務の予定価格の算定は、本業務の受託比率 (元契約額÷元設計額)を変更設計額又は関連業務の設計額に乗じた額で行う。
(6)	入札参加者等の 遵守事項	入札参加者は、「沖縄県土木建築部競争入札心得(※)」、「建築設計業務委託契約約款A(※)」 及び「仕様書」を熟読し、これを遵守すること。
		※【沖縄県土木建築部契約関係例規集>1-13、1-33 】
		https://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/gijiken/nyuusatu/keiyakukannkeireikisyuu.html

# 6 本公告に関する質問及び回答

(1)	入札・契約手続		沖縄県	那覇市泉崎1丁目2番2号 沖縄県庁舎14階
	に関すること	問い合せ先	沖縄県	企画部 情報基盤整備課 情報通信基盤班
			電話:	098-866-2036
(2)	上記(1)以外に		沖縄県	那覇市泉崎1丁目2番2号 沖縄県庁舎14階
	関すること	問い合せ先	沖縄県	企画部 情報基盤整備課 情報通信基盤班
			電話:	098-866-2036 FAX: 098-867-2998
		FF BB	沖縄県	那覇市泉崎1丁目2番2号 沖縄県庁舎14階
		質 問 書 提 出 先	沖縄県	企画部 情報基盤整備課 情報通信基盤班
		1,2 H /L	E-Mail	:xx013005@pref.okinawa.lg.jp
		提出期間	公告	日~ 令和7年11月7日(金)12時まで
		ル田州門	※上	記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで
		提出方法		- 又はFAX (押印不要)
		灰田 万 亿	※提出	する場合は、必ず電話で到達確認を行うこと。
			質問に	対する回答書は以下の期間、沖縄県ホームページに掲載する。
		回答方法	URLは3	(2)を確認すること。
			期間	回答日~ 令和7年11月21日 (金) ※上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで

# 7 苦情申立て

(1	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	入札参加資格がないと認められた者は、入札参加資格がないと認めた理由について、契約担当者に
	無いと認められ	対し説明を求めることができる。
	た者がその理由	製約担当者は、説明を求められたときは、苦情申立て期限日の翌日から起算して5日以内(休日を
	に対して不服が	除く。)に説明を求めた者に対し書面をもって回答する。
	ある場合	提出期限 入札参加資格確認結果の通知を行った日の翌日から起算して5日以内(休日を除 く。)とする。
		<mark>提 出 先</mark> 沖縄県企画部 情報基盤整備課 情報通信基盤班
		提出方法 芸情申立書(様式第1号)を持参又は郵送(提出期限必着。配達が確認できる方法で 送付すること。)。